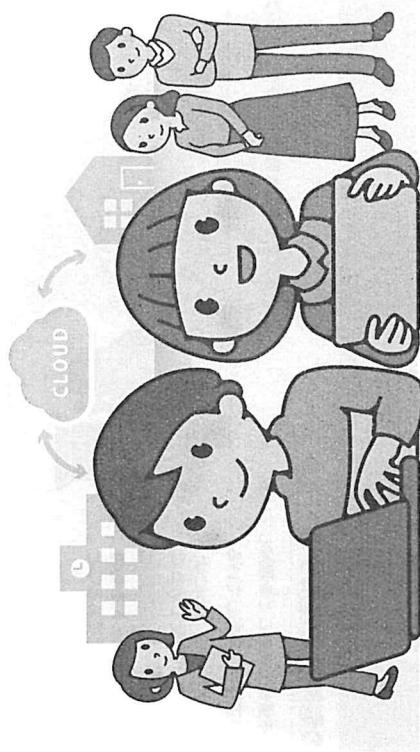


学校と家庭で育む 情報モラル

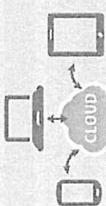
Q1 情報モラル



Q2 クラウドサービスの利用とは？

Answer

アカウントとは、個人の名前や学年、出席番号などにひもづいた固有のIDやパスワードのことです。個々に応じたクラウドサービスの利用による学習が可能となります。



Q3 アカウントとは？

Answer

アカウントとは、個人の名前や学年、出席番号などにひもづいた固有のIDやパスワードのことです。個々に応じたクラウドサービスの利用による学習が可能となります。



SECRET

Q4 保護者は何をすればいいか知りたい

Answer 「青少年インターネット構造整備法」には、以下のような保護者の責務について規定されています。

- フィルタリング等の利用により、子どものインターネットの利用状況を適切に管理する
- 子どものインターネット利用状況を適切に把握する
- 子どもがインターネットを適切に活用する能力の推進に努める
- 不適切な利用により、売春・犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する



Q5 家庭でどのようにして守る方法を知りたい

Answer 以下の資料を参考にしてください。



《横浜市教育委員会人権教育 児童生徒課／平成31年3月発行》
子どもの「心」を育んでこそ 安心・安全なスマホ・SNS利用

具体的な場面において、どのように子どもの心を育んでいくか、家庭でのルール作り等が分かるリーフレットになっています。
ぜひご活用ください。

《文部科学省》
情報モラルに関する指導の充実に資する
(児童生徒向けの動画教材・教員向け指導手引き) <保護者向けの動画教材・スライド資料>
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotozu/zycuhou/1368445.htm

《日本データ通信協会》
インターネットやメールのトラブル別の、関連省庁・団体・機関や民間企業についての相談先
<https://www.dekyo.or.jp/soudan/contents/info/inquiry.html>

一方で、インターネットはよい面だけではなく、危険もあります。使い方次第で「加害者」にも「被害者」になります。
そこで、学校の指導だけでなく、家庭と一緒に子どもたちに「情報モラル」を育んでいくことが求められます。



GIGAスクール構想で目指す新しい学び

令和3年度から、子どもたち一人ひとりに配付された「アカウント」で、それぞれの端末からログインをして、「クラウドサーバー」をを使った学習が始まります。「コンピュータ」が、文房具の一つとなり、子どもたちの学びを支えます。
新しい学びの環境で、コンピュータやインターネット等を活用し、子どもたちは、さらに主観的、対話的で深い学びが可能となり、社会生き抜く力を身に付けていきます。

Check! 家庭でお子さんと一緒に確認してほしいこと

家庭と学校が連携して
情報モラルを育むこと
情報モラルは、使い方次第で
加害者にもなること
心配なことや気になることがあつた場合、家族や
先生などに必ず相談してほしいこと



「情報モラル」は「日常のモラル」の延長線上にあります

日常のモラルを「社会において、適正な活動を行うための基になる考え方と態度」とするならば、情報モラルは「情報社会において、適正な活動を行うための基になる考え方と態度」ということができまつ。つまり、情報モラルは日常のモラルの延長線上にあると言えます。

情報社会で、子どもたちが健やかに成長するためには、心の教育を通して規範意識を育てることが必要です。相手の立場に立って思いやりのある行動を取ること、インターネットでのコミュニケーションで相手を思いやる気持ちや行動は同じです。

「情報モラル」は、「日常のモラル」を基盤に、「情報社会の特性」を理解しながら育むことが大切です。



家庭で育む 情報モラル

学校+家庭一緒に育んでもらいたい項目

① 自分の心や体を守る

- 長時間の使用が体に悪影響があることを理解している。
- ネットで知り合った人には、悪意がある場合があることを理解している。



POINT

家庭での
POINT

- ネット依存にならないために、積極的に子どもに声をかけ、コミュニケーションを取ることが大切です。
- ネットで知り合った人に、保護者にだまつて自分の情報を教えたり、直接会ったりしないようにすることが大切です。

家庭での
POINT

② 相手を大切にする

- ネット上に友達の悪口や嫌がることを載せてはいけないことを理解している。
- 画像や動画をアップロードすることは、相手を傷つけることがあることを理解している。
- 相手に対する書き込みや画像や動画のアップロードが、いじめにつながることを理解している。



POINT

家庭での
POINT



- SNSでの安易な情報発信は、危険につながることを認識させます。
- 投稿した情報は、第三者がコピーしたり、別の場所に投稿し直したりすると消すことはできないことを、しっかりと理解させます。
- 写真には位置情報が付いていることがあり、簡単に撮影場所を特定できることを知っておくことが大切です。
- どんな写真を送付しているかを把握しておくことが大切です。

POINT

家庭での
POINT



POINT

- 著作権などの知的財産を尊重する心を育むことが大切です。
- 人権侵害により裁判につながることもあることをご家庭でも確認します。
- 個人情報の取扱いに関するルールや法律について、確認することが大切です。



情報社会の特性による危険性

- ・ルールを守る
- ・相手を思いやる
- ・責任をもつ
- ・約束をする



情報社会の特性

インターネットの特性

- ・信頼できない情報がある
- ・情報や記録は拡散する

情報モラル



情報モラル

SNS等のトラブル

- 言葉の行き違いや冗談の書き込みから誤解が生じ、友人関係が悪化したり、いじめにつながったりすることがあります。



法的トラブル

- 不法コピーや肖像権の侵害等で罰せられることがあります。



ネット被害

- ネット上のウェブサイトやアプリによって個人情報を取得され、迷惑メールが届いたり、不正請求をされたりすることがあります。

個人情報の取り扱い

- 「日常のモラル」+「情報社会の特性」の理解について、確認することが大切です。



ネット被害